

ユーシン

景況レポート

Number.119
(2024.1~3月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業231企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の
あらまし

概況(1月▶3月期)

業況は、卸売業・小売業・不動産業で改善

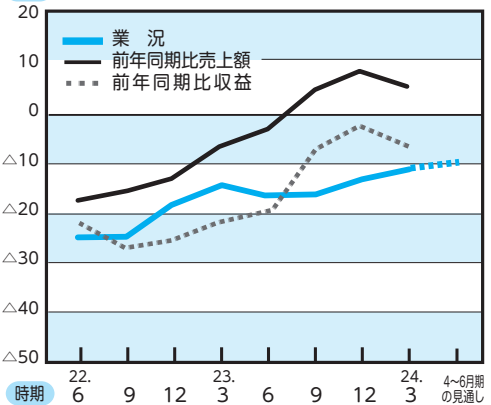
茨城県西地域の中小企業の業況判断D.Iは△10.4と、2023年10月~12月期(前期)の調査より2.6%改善し、景況感はわずかに良化しました。

業種別では、サービス業で前期比3.3%、建設業で同比2.8%低下しましたが、製造業で同比横ばい、卸売業で同比3.0%、小売業で同比7.3%、不動産業で同比22.2%改善しました。項目別では、売上額判断D.Iが1.7と前期比4.8%、収益判断D.Iが△9.5と同比5.2%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが5.2、前期比3.9%、同収益判断D.Iが△7.4、同比4.4%ともに低下しました。

雇用面では、人手過不足判断D.Iが△19.5と前期比4.3%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比横ばいとなりました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比2.1%低下しましたが、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が32.0%、「売上の停滞・減少」が28.6%、「原材料高」が27.3%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「中小企業における人材戦略」について、貴社では現在の人材の状況について懸念していることはありますかの質問に対し、高齢化が進んでいるとの回答が31.1%と最も多い結果となりました。

D.I 全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.Iは「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

業況の見通し判断D.Iは△10.0、当期実績比0.4%改善の見込

来期は、製造業・卸売業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比1.7%低下、収益判断D.Iでは同比横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比7.8%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.9%、残業時間判断D.Iが同比1.7%ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が57.1%、「販路を広げる」が32.9%、「人材を確保する」が25.5%と上位に挙げられました。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました)

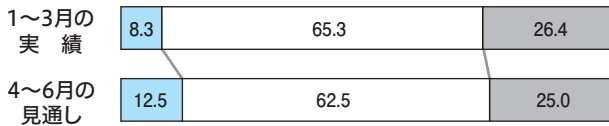
業種名	時期	5年10月~12月	6年1月~3月	6年4月~6月見通し	概要	要点
総合		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、2.6%改善し△10.4。来期は、0.4%改善し△10.0の見通し。	
製造業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、横ばいの△18.1。来期は、5.6%改善し△12.5の見通し。	
卸売業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、3.0%改善し△21.2。来期は、3.0%改善し△18.2の見通し。	
小売業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、7.3%改善し△17.1。来期は、横ばいの△17.1の見通し。	
サービス業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、3.3%低下し△6.5。来期は、3.2%低下し△9.7の見通し。	
建設業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、2.8%低下し13.9。来期は、8.3%低下し5.6の見通し。	
不動産業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、22.2%改善し0.0。来期は、横ばいの0.0の見通し。	

好調 ← ☀️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ → 低調 / ☁️ ↗️ 業況改善 ☁️ ↘️ 業況悪化 ☁️ ↔️ 業況変化なし

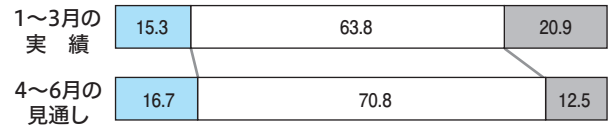
■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

【業況】



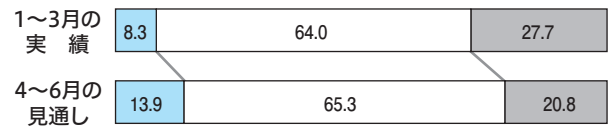
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△18.1、前期比横ばい

項目別では、売上額判断D.Iが△5.6と前期比9.8ポイント、収益判断D.Iが△19.4と同比11.1ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△8.3、前期比15.2ポイント、同収益判断D.Iが△16.7、同比13.9ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△15.3と前期比2.8ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△6.9と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7%（前期18.1%）、「予定あり」が8.3%（同8.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.9%（前期6.9%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が40.3%、「売上の停滞・減少」が36.1%、「利幅の縮小」が25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

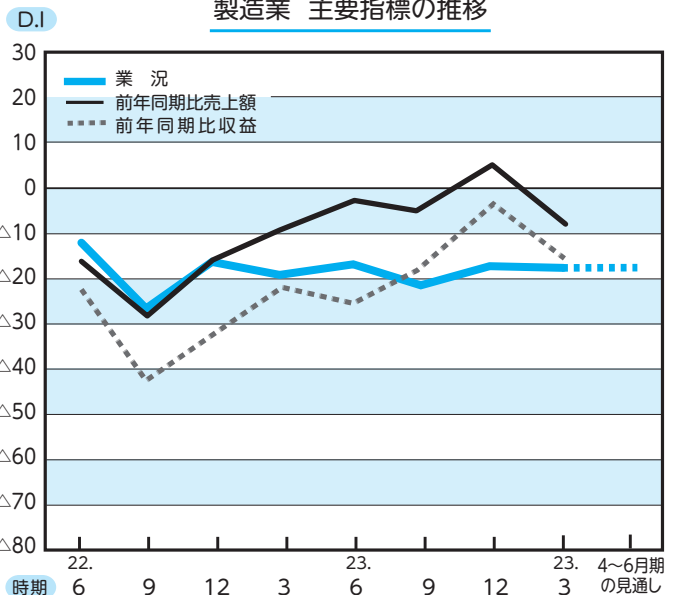
業況の見通し判断D.Iは△12.5、当期実績比5.6ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.8ポイント、収益判断D.Iが同比12.5ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比11.1ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比4.1ポイント低下、残業時間判断D.Iが同比5.5ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が65.3%、「販路を広げる」が37.5%、「人材を確保する」が26.4%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



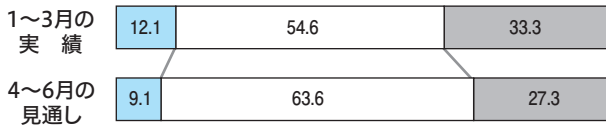
調査員のコメントから

原材料の高騰や円安に伴い仕入価格が上昇し、価格転嫁が追い付かず収益状況が悪化している。

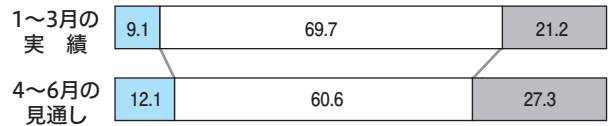
■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

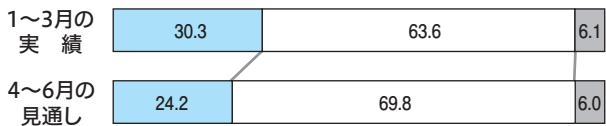
【業 況】



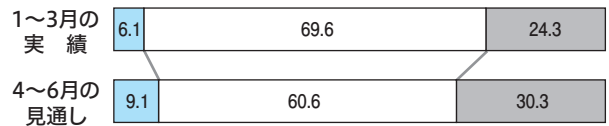
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△21.2、前期比3.0%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△12.1と前期比3.0%低下、収益判断D.Iが△18.2と同比3.0%改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0、前期比3.0%低下、同収益判断D.Iが△18.2、同比3.0%改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△15.2と前期比12.2%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比3.0%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が15.2% (前期15.2%)、「予定あり」が6.1% (同6.1%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.1% (前期9.1%) となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が45.5%、「同業者間の競争激化」が42.4%、「仕入先からの値上要請」が27.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

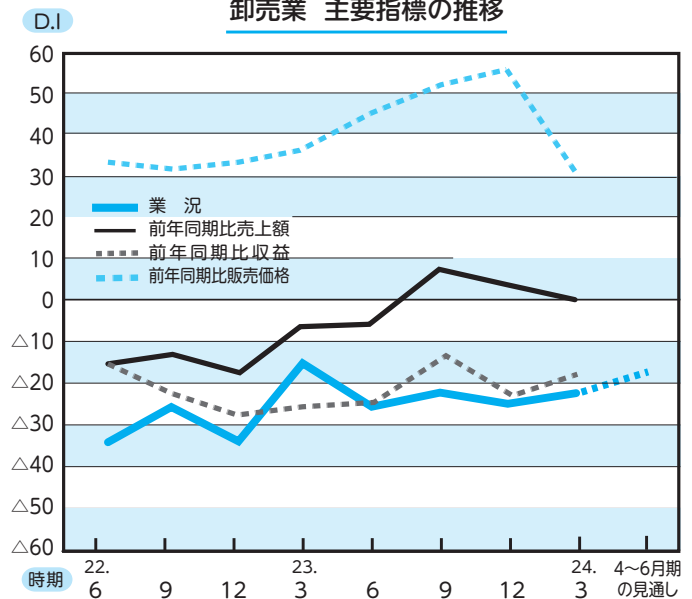
業況の見通し判断D.Iは△18.2、当期実績比3.0%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比3.1%、収益判断D.Iが同比3.0%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比15.1%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.1%改善、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.6%、「販路を広げる」が57.6%、「情報力の強化」が21.2%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



調査員のコメントから

事業拡大等は検討しておらず、既存取引先との良好な関係を保ち、売上を安定させ、細かな価格転嫁等を実施していきたい。

■ 小 売 業 回答企業数41企業(回答率100%)

【業 況】

1~3月の実績	12.2	58.5	29.3
4~6月の見通し	12.2	58.5	29.3

【売上額】

1~3月の実績	29.3	48.7	22.0
4~6月の見通し	19.5	63.4	17.1

【仕入価格】

1~3月の実績	43.9	56.1	0.0
4~6月の見通し	31.7	65.9	2.4

【収 益】

1~3月の実績	24.4	51.2	24.4
4~6月の見通し	14.6	63.5	21.9

■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)
 □ 変わらず(変化無し)
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図 **概況(1月▶3月期)**



業況判断D.Iは△17.1、前期比7.3%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが7.3と前期比2.5%、収益判断D.Iが0.0と同比2.4%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが9.8、前期比9.8%、同収益判断D.Iが△2.4、同比2.5%ともに改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.5と前期比9.7%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△7.3と前期比2.4%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が14.6%（前期17.1%）、「予定あり」が4.9%（同4.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は4.9%（前期4.9%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が36.6%、「売上の停滞・減少」が34.1%、「人手不足」・「利幅の縮小」・「商圏人口の減少」がそれぞれ17.1%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報 **見通し(4月▶6月期)**

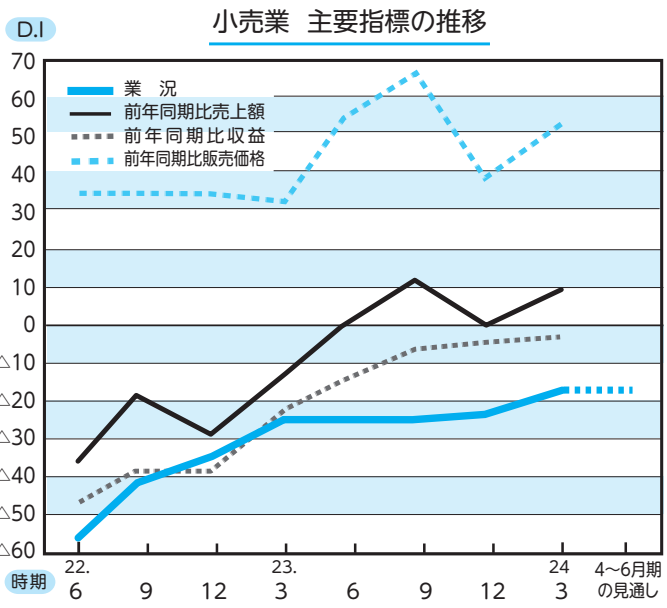


業況の見通し判断D.Iは△17.1、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.9%、収益判断D.Iが同比7.3%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比9.7%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.4%、残業時間判断D.Iが同比4.9%ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が53.7%、「品揃えを改善する」・「売れ筋商品の取扱」がそれぞれ29.3%と上位に挙げられました。

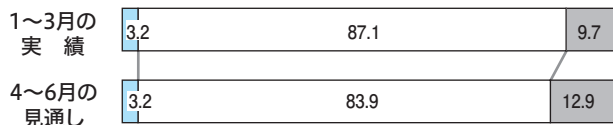


調査員のコメントから 衣料品販売にあたって、学校制服の指定販売店を取り付け、売上が増加した。タイヤ販売業では、降雪の影響でスタッドレスタイヤの売上増加につながった。

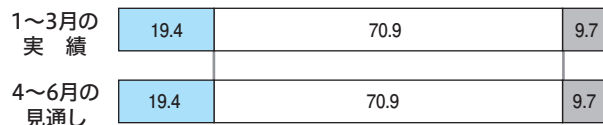
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

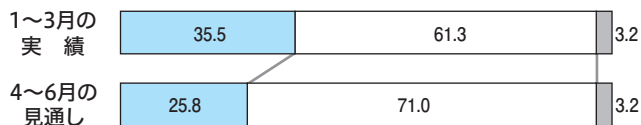
【業況】



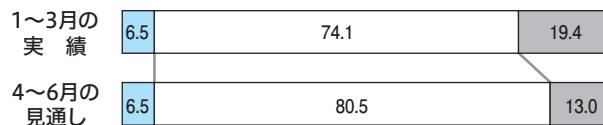
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△6.5、前期比3.3%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが9.7と前期比横ばい、収益判断D.Iが△12.9と同比12.9%低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが16.1、前期比横ばい、同収益判断D.Iが△3.2、同比9.7%低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.4と前期比6.4%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは6.5と前期比9.7%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が12.9%（前期9.7%）、「予定あり」が3.2%（同6.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.5%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」・「材料価格の上昇」がそれぞれ38.7%、「人手不足」が25.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

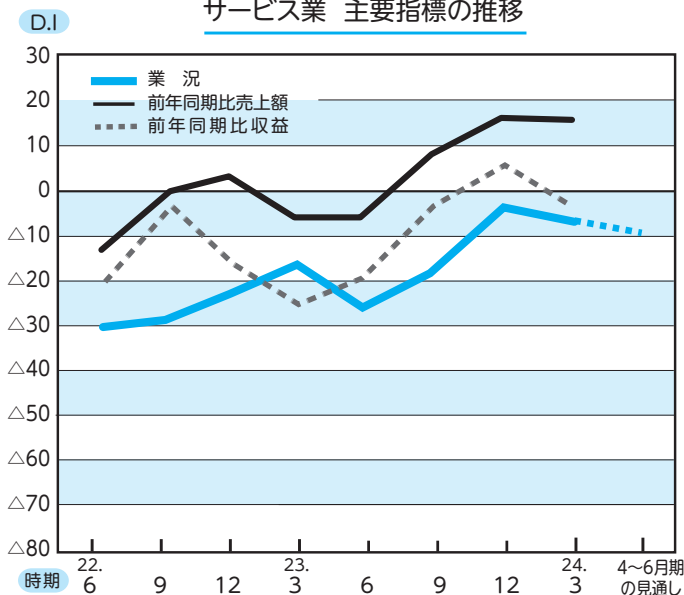
業況の見通し判断D.Iは△9.7、当期実績比3.2%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比6.4%改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比9.7%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比3.3%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が45.2%、「経費の節減」が38.7%、「宣伝・広告の強化」が22.6%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



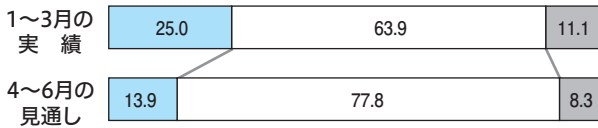
調査員のコメントから

団体でのバス旅行等の開催が、徐々にではあるものの増加しつつあることから、売上高が回復傾向にある。

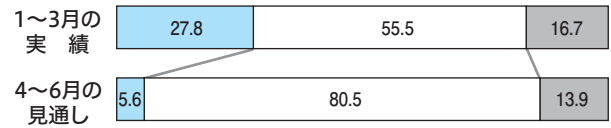
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

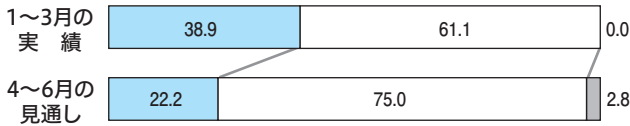
【業況】



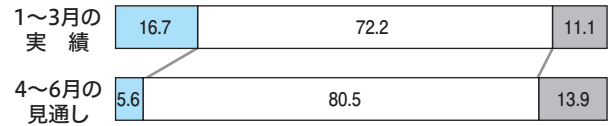
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは13.9、前期比△2.8%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが11.1と前期比5.6%、受注残判断D.Iが0.0と同比2.8%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが22.2、前期比5.5%、同収益判断D.Iが5.6、同比2.8%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△27.8と前期比2.8%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比2.8%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が38.9%(前期33.3%)、「予定あり」が16.7%(同25.0%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は2.8%(前期13.9%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が61.1%、「人手不足」が41.7%、「同業者間の競争激化」が25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

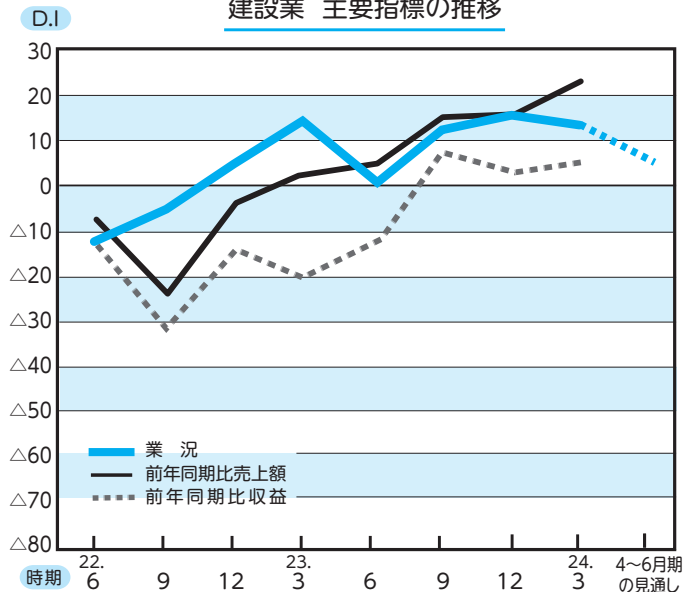
業況の見通し判断D.Iは5.6、当期実績比8.3%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比19.4%、収益判断D.Iが同比13.9%ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比19.5%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比5.6%改善、残業時間判断D.Iが同比2.8%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が72.2%、「人材を確保する」が47.2%、「販路を広げる」が25.0%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



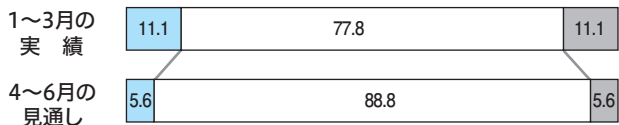
調査員のコメントから

「2024年問題」を視野に入れ、労働時間の短縮を進めているが、一部の取引業者にも理解を得ることができている。

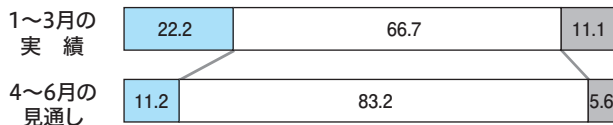
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

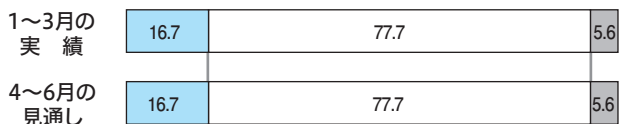
【業況】



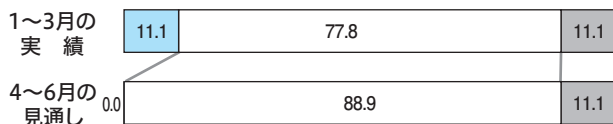
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは0.0、前期比22.2%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが11.1と前期比横ばい、収益判断D.Iが0.0と同比5.6%改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが5.6、前期比16.6%低下、同収益判断D.Iが5.6、同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△27.8と前期比5.6%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が11.1%（前期16.7%）、「予定あり」が16.7%（同5.6%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が44.4%、「人手不足」・「商品物件の不足」がそれぞれ27.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

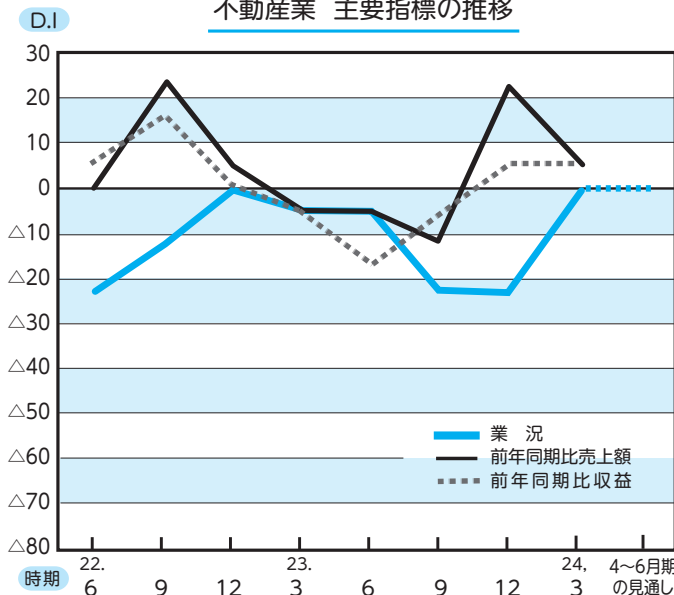
業況の見通し判断D.Iは0.0、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.5%、収益判断D.Iが同比11.1%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.6%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比5.6%改善、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が44.4%、「販路を広げる」が38.9%、「人材を確保する」が33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



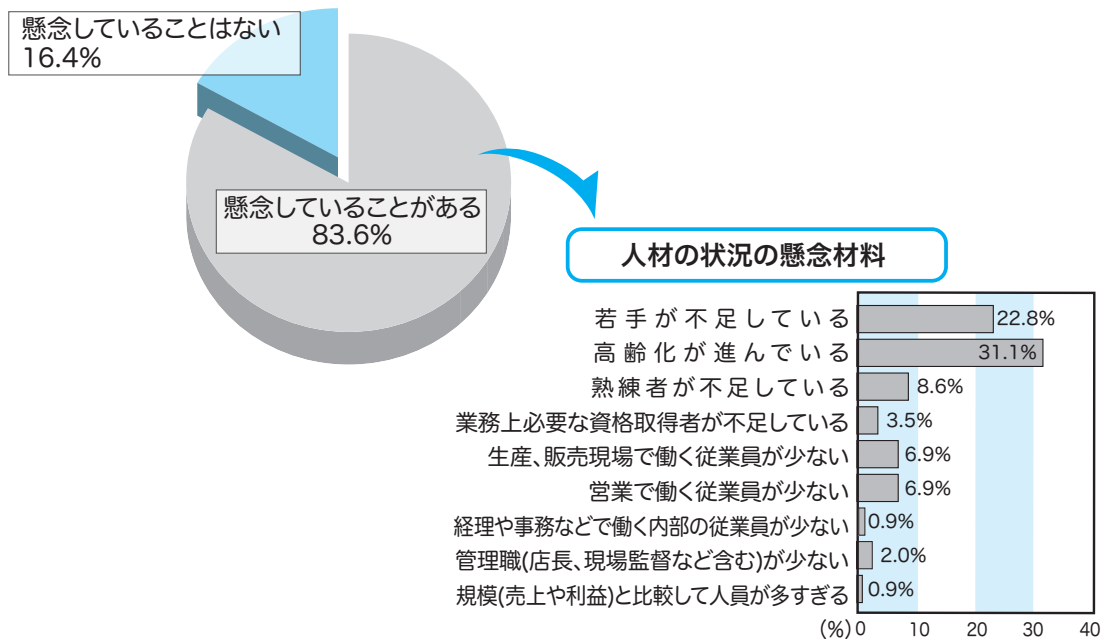
調査員のコメントから

地価等の変動は小幅であり不動産需要は続いているため、業況は概ね堅調に推移する見込みである。

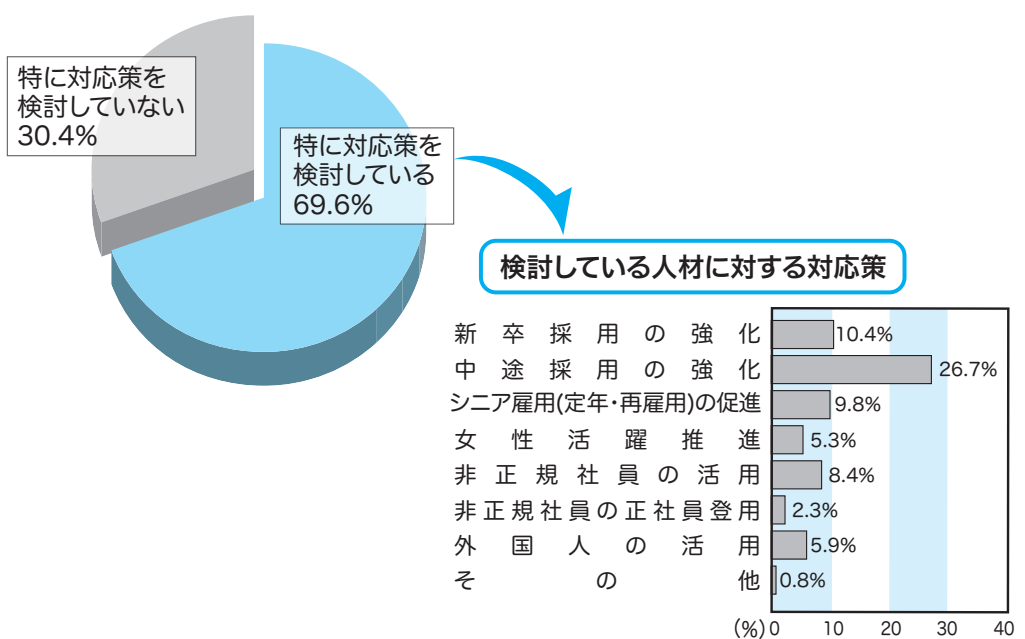
特別調査

中小企業における人材戦略について

問1 貴社では、現在の人材の状況について懸念していることはありますか。

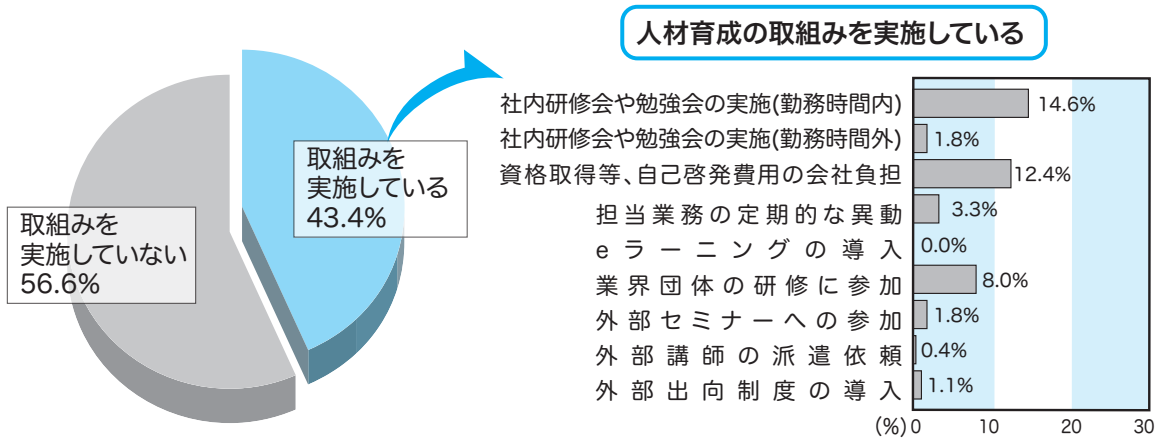


問2 今後の貴社の人材に対する対応策について、最も近いものを、選んでお答えください。



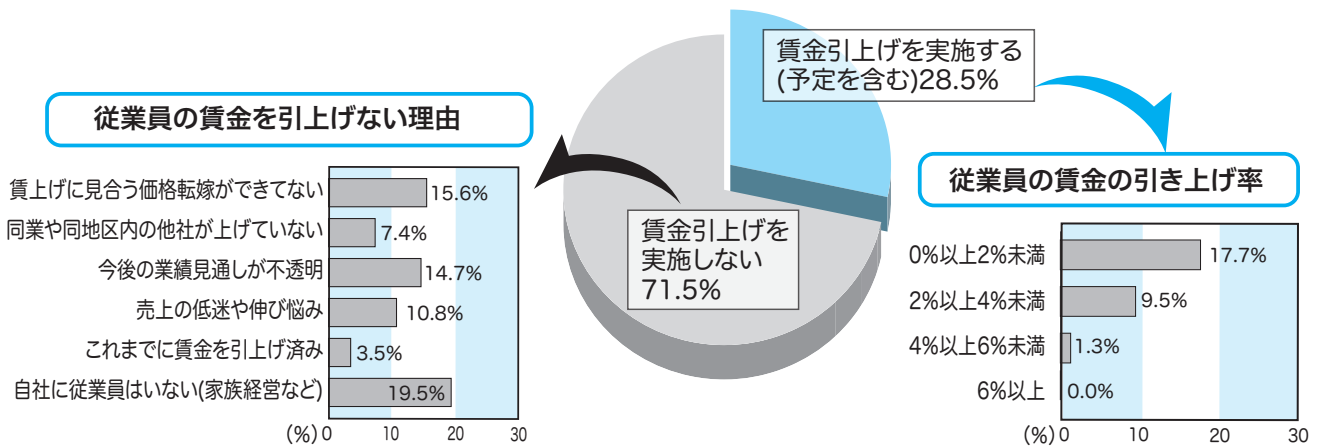
問3

貴社では、人材育成において、職場内での実地の訓練(OJT)以外の取組みを実施していますか。



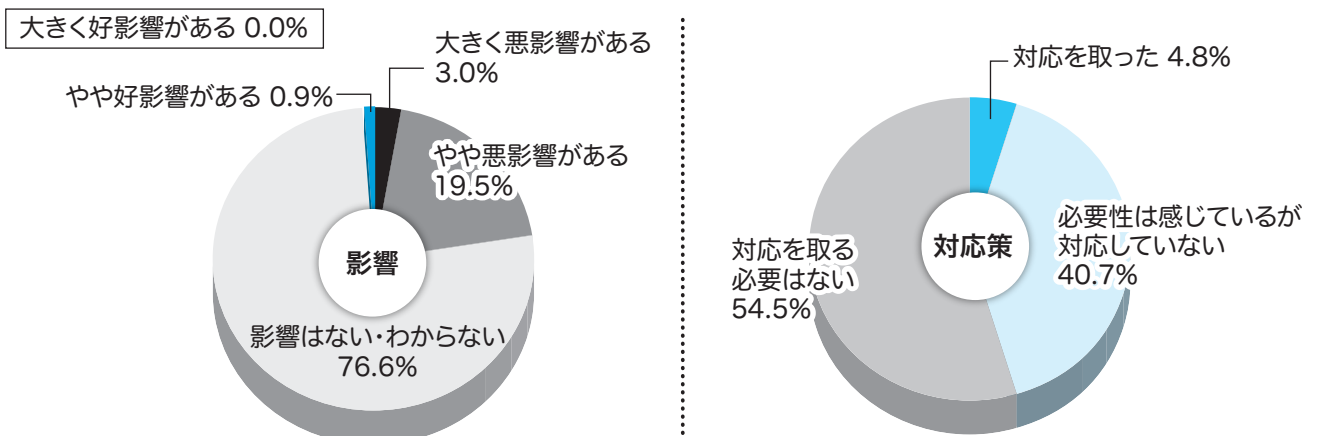
問4

貴社では、人材定着などに向けて、2024年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む。)しますか。



問5

2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まります(2024年問題)。これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると見込まれますか。また、貴社では2024年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただく
と結城信用金庫のホームページに
アクセスできます。

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年1.50%

引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

ブライダルローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

カーライフプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

教育プラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 16年以内

子育て応援プラン

ご融資金額 100万円以内

ご利用期間 10年以内

リフォームプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

2025年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！

応募作品の中から優秀作品を選定し、2025年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296) 32-2110 FAX (0296) 33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>